

大台ヶ原年表

江戸

1606年(慶長11)	天台僧侶丹誠上人入山の記録(北山由緒記)
1720年頃(享保年間)	幕府採薬使等、数回にわたり入山
1869年(明治2)	京都宇治興聖寺、開拓のため入山、一年余りで失敗(開拓記録)
1874年(明治7)	大峯行者林実利、入山修行
1885年(明治18)	松浦武四郎、登山
1891年(明治24)	古川嵩、入山修行
1893年(明治26)	古川嵩、大台教会建設に着手、32年完成
1895年(明治28)	日出ヶ岳山頂に1等三角点標設置、博物学者白井光太郎、植物調査
1898年(明治31)	土倉庄三郎登山道(現筏場歩道)開設、大台教会近くに雨量観測所設置
1911年(明治44)	オオダイガハラサンショウウオ発見
1916年(大正5)	四日市製紙株大台ヶ原の森林伐採着手。ヒノキなどを皆伐に近い形で伐採
1920年(大正9)	農商務省山林局、気象観測所設置
1922年(大正11)	内務省、国立公園指定予備調査のため入山
1925年(大正14)	大台～河合間に有線電話開設
1928年(昭和3)	牛石ヶ原に神武天皇銅像建立
1936年(昭和11)	吉野熊野国立公園指定
1940年(昭和15)	同公園計画決定、大台ヶ原特別地域指定、大杉谷探勝路開設
1941年(昭和16)	関西急行(現近鉄)青年寮開設
1944年(昭和19)	大台教会に陸軍分遣隊駐屯
1955年(昭和30)	気象庁、気象観測所設置、大台ヶ原地区内のミヤコザサが開花・枯死
1958年(昭和33)	吉野山地区に管理員配置
1959年(昭和34)	伊勢湾台風によりトウヒ林風倒被害
1961年(昭和36)	大台ヶ原ドライブウェイ開通(有料)、第2室戸台風により森林風倒被害

明治

1965年(昭和40)	旧大台ヶ原ビジターセンター開設、本州製紙株森林伐採計画が具体化、自然林保護運動が活発化
1969年(昭和44)	大台ヶ原の自然を守る会発足
1973年(昭和48)	吉野熊野国立公園管理事務所発足
1974年(昭和49)	奈良県が大台ヶ原地区671.55haを本州製紙株から買い上げ、奈良県が大台ヶ原集団施設地区24haを本州製紙株から寄付採納、大台ヶ原地区美化促進協議会発足
1975年(昭和50)	奈良県が大台ヶ原地区142.41haを買い上げ
1980年(昭和55)	ユネスコがMAB計画生物圏保護地域に指定
1981年(昭和56)	大台ヶ原ドライブウェイ一般県道に移管
1982年(昭和57)	環境庁が「大台ヶ原原生林における植生変化の実態と保護管理手法に関する調査」を実施
1984年(昭和59)	環境庁が「特定自然環境地域保全計画策定調査」を実施 奈良県が昭和49年買上げ地を環境庁に移管
1985年(昭和60)	奈良県が昭和50年買上げ地を環境庁に移管
1986年(昭和61)	環境庁がトウヒ林保全対策事業を開始
1988年(昭和63)	第1期パークボランティア講習会開催 ニホンジカ生息動態調査を国立公園協会の補助で実施
1992年(平成4)	現 大台ヶ原ビジターセンター開設
2002年(平成14)	大台ヶ原自然再生検討会設置
2004年(平成16)	大台ヶ原自然再生推進計画の取組開始
2007年(平成19)	西大台利用調整地区の運用を開始
2016年(平成28)	「大台ヶ原・大峯山・大杉谷」がユネスコエコパークに拡張申請
2017年(平成29)	大台ヶ原登録ガイド制度開始

大正

昭和

平成